中学校歴史 単元別学習 90 問

第 17 単元 大正デモクラシーと社会の変化

範囲：政党政治と普通選挙／社会運動／大正期から昭和初めの文化と生活
用語と順序を確かめ、人々の政治参加や生活・文化の変化を説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

民主政治を求める動き

問 1　大正期を中心に、政治や社会の民主化を求める動きが広がった風潮を何というか。

問 2　明治・大正期、薩摩や長州など特定の藩の出身者を中心とする政治勢力を何というか。

問 3　1912 年から 1913 年にかけ、「閥族打破・憲政擁護」を掲げて起こった運動は何か。

問 4　犬養毅とともに第一次護憲運動の中心となり、議会で桂内閣を批判した政治家は誰か。

問 5　尾崎行雄とともに第一次護憲運動を進め、のちに革新倶楽部を率いた政治家は誰か。

問 6　1913 年、護憲運動が高まる中、第三次桂内閣が退陣した政治上の出来事は何か。

問 7　第一次護憲運動による批判を受け、1913 年に内閣を退陣させた首相は誰か。

問 8　民本主義を唱え、民衆の意思や利益を重視する政治を主張した思想家は誰か。

問 9　吉野作造が唱えた、民衆の意思を政治に反映し、民衆の幸福を重視する考え方は何か。

問 10　国家を法人とし、天皇をその最高機関ととらえる天皇機関説を唱えた憲法学者は誰か。

政党内閣と普通選挙への道

問 11　1918 年、米の価格の急上昇に抗議する動きが、富山県から全国へ広がった事件は何か。

問 12　米騒動への対応などで批判を受け、1918 年に退陣した内閣の首相は誰か。

問 13　1918 年、立憲政友会を基盤に、日本初の本格的な政党内閣を組織した首相は誰か。

問 14　議会の政党を主な基盤として組織される内閣を、一般に何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　1918 年に首相となった原敬が総裁を務め、内閣の基盤とした政党は何か。

問 16　1924 年、清浦内閣に対し、政党内閣の実現を求めて起こった護憲運動は何か。

問 17　第二次護憲運動で協力した、憲政会・立憲政友会・革新倶楽部の三党の呼び名は何か。

問 18　1924 年に護憲三派内閣の首相となり、翌年に普通選挙法を成立させた政治家は誰か。

問 19　1925 年、衆議院議員の選挙権から納税の条件をなくした法律を、一般に何というか。

選挙の拡大と社会運動

問 20　1925 年の普通選挙法では、男子は原則として何歳以上で選挙権を持つとされたか。

問 21　1925 年、国体の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社などを禁じた法律は何か。

問 22　賃金や労働時間などの条件を改善するため、労働者が団結してつくる組織は何か。

問 23　1912 年、鈴木文治が労働者の地位向上を目指して結成した団体は何か。

問 24　友愛会を結成し、労働運動の発展に関わった指導者は誰か。

問 25　友愛会が発展し、1921 年にこの名称となった、労働組合の全国的な組織は何か。

問 26　小作人が地主に対し、小作料の引下げや耕作の権利の保障などを求める争いは何か。

問 27　1922 年、小作人などの権利や生活を守るために結成された全国的な農民組織は何か。

問 28　1922 年、被差別部落の人々が中心となり、差別からの解放を求めて結成した組織は何か。

問 29　当時の女性たちが求めた、女性が選挙などを通じて政治に参加する権利を何というか。

女性の運動と教育の変化

問 30　1911 年に雑誌『青鞜』を創刊し、女性の自立や権利の拡大を訴えた人物は誰か。

問 31　平塚らいてうらが創刊し、女性が自らの考えや作品を発表した雑誌は何か。

問 32　平塚らいてうらと新婦人協会をつくり、婦人参政権を求める運動を進めた人物は誰か。

問 33　平塚らいてう・市川房枝らが、女性の権利や政治参加の拡大を求めてつくった団体は何か。

問 34　1922 年の改正で、女性の政談集会への参加を禁じる規定が削除された法律は何か。

問 35　大正期、都市で事務員や電話交換手などとして働く女性は、当時何と呼ばれたか。

問 36　1918 年に公布され、公立・私立の大学の設置にも道を開いた法令は何か。

問 37　子どもの個性や自発的な活動を尊重し、大正期に広がった新しい教育運動は何か。

都市生活と大衆文化

問 38　新聞・雑誌・映画・ラジオなどを通じ、多くの人々に親しまれるようになった文化は何か。

問 39　1925 年に日本で始まり、音声でニュースや音楽を家庭などへ届けた放送は何か。

問 40　大正末期から昭和初め、1 冊 1 円を基本に売られ、広く読まれた全集本の呼び名は何か。

問 41　活動写真とも呼ばれ、大正期に人気が広がった、スクリーンに動く映像を映す娯楽は何か。

問 42　『羅生門』や『鼻』などを書き、大正期に活躍した小説家は誰か。

問 43　工業や商業の発展に伴い、都市に人口が集まり、市街地や都市生活が広がることは何か。

問 44　都市で会社などに勤め、給料を受け取る人々を表す、当時広まった呼び名は何か。

文学の広がりと震災

問 45　武者小路実篤や志賀直哉らが、人間の個性や価値を重んじた文学の一派は何か。

問 46　雑誌『白樺』の創刊に参加し、『友情』などを書いた作家は誰か。

問 47　労働者や農民の生活、社会の矛盾、団結や抵抗などを描いた文学の呼び名は何か。

問 48　1929 年に『蟹工船』を発表し、労働者の厳しい生活や団結を描いた作家は誰か。

問 49　1923 年 9 月 1 日、東京や横浜などに大きな被害をもたらした地震災害は何か。

問 50　震災時に人々の不安をあおった、確かな根拠がないまま広がるうわさを何というか。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　民主化を求める動きの広がり

ア 大正政変で桂内閣が退陣する　　イ 友愛会が結成される
ウ 雑誌『青鞜』が創刊される　　エ 吉野が民本主義の論文を発表

問 2　護憲運動と民衆の行動

ア 米騒動が全国に広がる　　イ 第二次護憲運動が起こる
ウ 大正政変で桂内閣が退陣する　　エ 吉野が民本主義の論文を発表

問 3　選挙制度の拡大への道

ア 普通選挙法が成立する　　イ 米騒動が全国に広がる
ウ 第二次護憲運動が起こる　　エ 選挙の納税条件が 3 円になる

問 4　民本主義と政党政治

ア 選挙の納税条件が 3 円になる　　イ 吉野が民本主義の論文を発表
ウ 原敬内閣が成立する　　エ 男子普通選挙で初の総選挙

問 5　女性の運動と政治参加

ア 雑誌『青鞜』が創刊される　　イ 新婦人協会の発会式が開かれる
ウ 女性の政談集会参加を認める　　エ 普通選挙法が成立する

問 6　労働者・農民の組織

ア 普通選挙法が成立する　　イ 日本労働総同盟に改称する
ウ 日本農民組合が結成される　　エ 友愛会が結成される

問 7　社会運動と統制の強まり

ア 治安維持法が成立する　　イ 全国水平社が結成される
ウ 日本労働総同盟に改称する　　エ 関東大震災が起こる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　政党内閣と社会運動

ア 全国水平社が結成される　　イ 日本労働総同盟に改称する
ウ 男子普通選挙で初の総選挙　　エ 原敬内閣が成立する

問 9　社会の変化と普通選挙

ア 全国水平社が結成される　　イ 加藤高明内閣が成立する
ウ 関東大震災が起こる　　エ 普通選挙法が成立する

問 10　雑誌と文学の広がり

ア『蟹工船』が発表される　　イ 改造社の円本刊行が始まる
ウ 雑誌『青鞜』が創刊される　　エ 雑誌『白樺』が創刊される

問 11　民衆の行動から放送へ

ア 米騒動が全国に広がる　　イ 日本でラジオ放送が始まる
ウ 関東大震災が起こる　　エ 大正政変で桂内閣が退陣する

問 12　選挙と女性運動の展開

ア 新婦人協会の発会式が開かれる　　イ 男子普通選挙で初の総選挙
ウ 選挙の納税条件が 3 円になる　　エ 第二次護憲運動が起こる

問 13　思想・社会運動と震災

ア 全国水平社が結成される　　イ 吉野が民本主義の論文を発表
ウ 関東大震災が起こる　　エ 新婦人協会の発会式が開かれる

問 14　労働運動と政党政治

ア 治安維持法が成立する　　イ 友愛会が結成される
ウ 原敬内閣が成立する　　エ 日本労働総同盟に改称する

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　政治参加の拡大と震災

ア 関東大震災が起こる　　イ 普通選挙法が成立する
ウ 女性の政談集会参加を認める　　エ 男子普通選挙で初の総選挙

問 16　大正末期の社会と文化

ア 関東大震災が起こる　　イ 日本でラジオ放送が始まる
ウ 改造社の円本刊行が始まる　　エ 新婦人協会の発会式が開かれる

問 17　米騒動後の社会と政治

ア 米騒動が全国に広がる　　イ 男子普通選挙で初の総選挙
ウ 日本農民組合が結成される　　エ 加藤高明内閣が成立する

問 18　社会運動・政治・文学

ア 『蟹工船』が発表される　　イ 治安維持法が成立する
ウ 日本労働総同盟に改称する　　エ 第二次護憲運動が起こる

問 19　文化と思想の歩み

ア 日本でラジオ放送が始まる　　イ 『蟹工船』が発表される
ウ 吉野が民本主義の論文を発表　　エ 雑誌『白樺』が創刊される

問 20　政党内閣と男子普通選挙

ア 大正政変で桂内閣が退陣する　　イ 原敬内閣が成立する
ウ 男子普通選挙で初の総選挙　　エ 普通選挙法が成立する

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　吉野作造の民本主義は、どのような政治を求めたか。また、主権の所在を変える主張だったか。資料を使って説明しなさい。

資料　吉野は、大日本帝国憲法の下で、民衆の意思や利益を重視し、議会や政党を通じて政治に反映させることを主張した。

問 2　第一次護憲運動では、誰が、どのような政治に反対したか。議会での活動と民衆の行動に触れて説明しなさい。

問 3　大戦中に日本経済が好景気だったのに、なぜ米騒動が起こったか。物価と人々の生活、米の買占めに触れて説明しなさい。

問 4　原敬内閣が「初の本格的な政党内閣」とされるのはなぜか。資料を使い、閣僚の構成と政党との関係から説明しなさい。

資料　原敬は立憲政友会の総裁だった。内閣では、外務・陸軍・海軍の大臣を除く閣僚を政友会員が占めた。

問 5　原敬の政党内閣で、すぐに男子普通選挙が実現したといえるか。資料の選挙資格から説明しなさい。

資料　原内閣の 1919 年の選挙法改正では、直接国税の納税資格を 10 円以上から 3 円以上に引き下げた。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　第二次護憲運動は、どのように政党内閣の成立につながったか。護憲三派と 1924 年の選挙に触れて説明しなさい。

問 7　1925 年の普通選挙法によって、何が進み、どのような制限が残ったか。納税・年齢・性別から説明しなさい。

問 8　1925 年の普通選挙法と治安維持法は、政治参加や社会運動に対して、どのように異なる役割を持ったか。説明しなさい。

問 9　労働者はなぜ組合をつくり、団結して要求するようになったか。賃金や労働時間と、個人で交渉する場合の難しさに触れなさい。

問 10　小作争議と労働争議は、主に誰と誰の間で起こり、何を求めた争いか。両者を区別して説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　全国水平社は、誰が中心となり、どのような社会を目指した運動か。差別される側の人々の行動に触れて説明しなさい。

問 12　1922 年の治安警察法改正で、女性はどのような政治参加が可能になったか。選挙権との違いも説明しなさい。

問 13　都市で職業婦人が増えたことは、女性の生活や社会にどのような変化をもたらしたか。資料を使い、課題も含めて説明しなさい。

資料　事務員・電話交換手など、都市の仕事に就く女性が増えた。一方、職業や待遇には男女の差があり、女性には国政の選挙権もなかった。

問 14　新聞・雑誌・映画・ラジオなどの大衆文化が広がったのはなぜか。都市生活、教育、情報を届ける方法に触れて説明しなさい。

問 15　大正期の教育には、学ぶ機会と、学び方の面でどのような変化があったか。資料の二つの例を区別して説明しなさい。

資料　大学令は公立・私立大学の設置にも道を開いた。大正自由教育では、子どもの個性や自発的な活動を尊重する実践が行われた。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　白樺派とプロレタリア文学は、主にどのような点に目を向けたか。資料を使い、社会との関わりから説明しなさい。

資料　白樺派は人間の個性や価値を重んじた。プロレタリア文学には、労働者や農民の生活、社会の矛盾や抵抗を描いた作品がある。

問 17　発展　第一次と第二次の護憲運動は、何を共通して求め、どの内閣に反対したか。両者の結果も区別して説明しなさい。

問 18　発展　「1925 年に普通選挙法が成立したので、その年に最初の男子普通選挙による衆議院議員総選挙が行われた」といえるか。資料から説明しなさい。

資料　1924 年に護憲三派内閣が成立。1925 年に普通選挙法が成立。1928 年に第 16 回衆議院議員総選挙が実施された。

問 19　発展　関東大震災で流言が広がったことは、どのような被害を生んだか。資料を使い、情報と人権の両面から考えられる教訓を説明しなさい。

資料　通信が途絶し、不安が広がった。朝鮮人などに関する根拠のないうわさが広まり、自警団や軍・警察の一部による殺傷も起こった。

問 20　発展　大正デモクラシーを「政治家だけが起こした変化」と説明してよいか。政治・社会・文化から二つ以上の具体例を使って考えを説明しなさい。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	大正デモクラシー	26	小作争議
2	藩閥	27	日本農民組合
3	第一次護憲運動	28	全国水平社
4	尾崎行雄	29	婦人参政権
5	犬養毅	30	平塚らいてう
6	大正政変	31	青鞜
7	桂太郎	32	市川房枝
8	吉野作造	33	新婦人協会
9	民本主義	34	治安警察法
10	美濃部達吉	35	職業婦人
11	米騒動	36	大学令
12	寺内正毅	37	大正自由教育
13	原敬	38	大衆文化
14	政党内閣	39	ラジオ放送
15	立憲政友会	40	円本
16	第二次護憲運動	41	映画
17	護憲三派	42	芥川龍之介
18	加藤高明	43	都市化
19	普通選挙法	44	サラリーマン
20	満 25 歳以上	45	白樺派
21	治安維持法	46	武者小路実篤
22	労働組合	47	プロレタリア文学
23	友愛会	48	小林多喜二
24	鈴木文治	49	関東大震災
25	日本労働総同盟	50	流言

認められる表記の例

問 2：藩閥勢力も可。問 3・16：第一次・第二次憲政擁護運動も可。
問 19：男子普通選挙法も可。問 20：25 歳以上も可。問 29：女性参政権も可。
問 30：平塚明も可。問 37：自由教育・新教育運動も可。問 50：流言飛語も可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	ウ→イ→ア→エ	雑誌『青鞜』の創刊（1911 年） → 鈴木文治らによる友愛会の結成（1912 年） → 大正政変による第三次桂内閣の退陣（1913 年） → 吉野作造による民本主義の論文発表（1916 年）
2	ウ→エ→ア→イ	大正政変による第三次桂内閣の退陣（1913 年） → 吉野作造による民本主義の論文発表（1916 年） → 米騒動の全国への広がり（1918 年） → 第二次護憲運動（1924 年）
3	イ→エ→ウ→ア	米騒動の全国への広がり（1918 年） → 選挙権の納税資格を直接国税 3 円以上に緩和（1919 年） → 第二次護憲運動（1924 年） → 納税資格をなくす普通選挙法の成立（1925 年）
4	イ→ウ→ア→エ	吉野作造による民本主義の論文発表（1916 年） → 原敬による本格的政党内閣の成立（1918 年） → 選挙権の納税資格を直接国税 3 円以上に緩和（1919 年） → 男子普通選挙による初の衆議院議員総選挙（1928 年）
5	ア→イ→ウ→エ	雑誌『青鞜』の創刊（1911 年） → 新婦人協会の発会式（1920 年） → 治安警察法改正で女性の政談集会参加を認める（1922 年） → 納税資格をなくす普通選挙法の成立（1925 年）
6	エ→イ→ウ→ア	鈴木文治らによる友愛会の結成（1912 年） → 友愛会が日本労働総同盟へ発展・改称（1921 年） → 日本農民組合の結成（1922 年） → 納税資格をなくす普通選挙法の成立（1925 年）
7	ウ→イ→エ→ア	友愛会が日本労働総同盟へ発展・改称（1921 年） → 差別からの解放を求める全国水平社の結成（1922 年） → 関東大震災（1923 年） → 治安維持法の成立（1925 年）
8	エ→イ→ア→ウ	原敬による本格的政党内閣の成立（1918 年） → 友愛会が日本労働総同盟へ発展・改称（1921 年） → 差別からの解放を求める全国水平社の結成（1922 年） → 男子普通選挙による初の衆議院議員総選挙（1928 年）
9	ア→ウ→イ→エ	差別からの解放を求める全国水平社の結成（1922 年） → 関東大震災（1923 年） → 加藤高明の護憲三派内閣の成立（1924 年） → 納税資格をなくす普通選挙法の成立（1925 年）
10	エ→ウ→イ→ア	雑誌『白樺』の創刊（1910 年） → 雑誌『青鞜』の創刊（1911 年） → 改造社『現代日本文学全集』の円本刊行開始（1926 年） → 小林多喜二による『蟹工船』の発表（1929 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	エ→ア→ウ→イ	大正政変による第三次桂内閣の退陣（1913 年） → 米騒動の全国への広がり（1918 年） → 関東大震災（1923 年） → 日本のラジオ放送開始（1925 年）
12	ウ→ア→エ→イ	選挙権の納税資格を直接国税 3 円以上に緩和（1919 年） → 新婦人協会の発会式（1920 年） → 第二次護憲運動（1924 年） → 男子普通選挙による初の衆議院議員総選挙（1928 年）
13	イ→エ→ア→ウ	吉野作造による民本主義の論文発表（1916 年） → 新婦人協会の発会式（1920 年） → 差別からの解放を求める全国水平社の結成（1922 年） → 関東大震災（1923 年）
14	イ→ウ→エ→ア	鈴木文治らによる友愛会の結成（1912 年） → 原敬による本格的政党内閣の成立（1918 年） → 友愛会が日本労働総同盟へ発展・改称（1921 年） → 治安維持法の成立（1925 年）
15	ウ→ア→イ→エ	治安警察法改正で女性の政談集会参加を認める（1922 年） → 関東大震災（1923 年） → 納税資格をなくす普通選挙法の成立（1925 年） → 男子普通選挙による初の衆議院議員総選挙（1928 年）
16	エ→ア→イ→ウ	新婦人協会の発会式（1920 年） → 関東大震災（1923 年） → 日本のラジオ放送開始（1925 年） → 改造社『現代日本文学全集』の円本刊行開始（1926 年）
17	ア→ウ→エ→イ	米騒動の全国への広がり（1918 年） → 日本農民組合の結成（1922 年） → 加藤高明の護憲三派内閣の成立（1924 年） → 男子普通選挙による初の衆議院議員総選挙（1928 年）
18	ウ→エ→イ→ア	友愛会が日本労働総同盟へ発展・改称（1921 年） → 第二次護憲運動（1924 年） → 治安維持法の成立（1925 年） → 小林多喜二による『蟹工船』の発表（1929 年）
19	エ→ウ→ア→イ	雑誌『白樺』の創刊（1910 年） → 吉野作造による民本主義の論文発表（1916 年） → 日本のラジオ放送開始（1925 年） → 小林多喜二による『蟹工船』の発表（1929 年）
20	ア→イ→エ→ウ	大正政変による第三次桂内閣の退陣（1913 年） → 原敬による本格的政党内閣の成立（1918 年） → 納税資格をなくす普通選挙法の成立（1925 年） → 男子普通選挙による初の衆議院議員総選挙（1928 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 民本主義	政治は民衆の意思に基づき、民衆の利益や幸福のために行うべきだとした。天皇に主権がある憲法の枠組みを直ちに変えるのではなく、その下で議会や政党を通じ、民意を政治に反映させようとした。	民意・民衆の利益の重視と、天皇主権の憲法の下での政治運営を示す。
問 2 第一次護憲運動	尾崎行雄や犬養毅らの政治家と民衆が、藩閥を中心とした政治や桂内閣に反対した。議会での政府批判や街頭の集会などを通じ、憲法に基づき議会を重視する政治を求め、桂内閣の退陣につながった。	藩閥政治への反対、政党・議会と民衆の行動、桂内閣の退陣を結び付ける。
問 3 米騒動の背景	輸出や生産が増える一方、物価、特に米の価格が上がり、収入の増加が追い付かない人々の生活は苦しくなった。シベリア出兵を見越した投機的な買占めも米価を押し上げ、値下げなどを求める抗議が広がった。	好景気でも生活が苦しい人々がいたことと、米価上昇・買占めを示す。
問 4 原敬の政党内閣	政党の総裁である原敬が首相となり、外務・陸軍・海軍大臣以外の閣僚を立憲政友会の党員が占めたからである。議会の政党を主な基盤とし、政党が中心になって内閣を運営する仕組みが本格化した。	政友会総裁が首相となったことと、大半の閣僚を政友会員が占めたことを示す。
問 5 原内閣と選挙権	実現したとはいえない。納税額の条件が引き下げられ、有権者は増えたが、納税資格自体は残っていた。政党内閣の成立と、納税資格をなくした 1925 年の男子普通選挙法の成立は、異なる段階だった。	納税資格の緩和と撤廃を区別し、原内閣では条件が残ったことを示す。
問 6 第二次護憲運動	憲政会・立憲政友会・革新倶楽部が協力して清浦内閣に反対し、政党内閣を求めた。1924 年の総選挙で護憲三派が勝利し、第一党の憲政会を率いる加藤高明が、三派を基盤とする内閣を組織した。	護憲三派の協力、総選挙の勝利、加藤高明内閣の成立の順序を示す。
問 7 普通選挙の限界	納税額による選挙資格が撤廃され、原則として満 25 歳以上の男子に選挙権が広がった。しかし、女性には認められず、25 歳未満の人々も対象外だった。政治参加は広がったが、全ての成人が投票できたわけではない。	納税資格の撤廃という前進と、年齢・性別による制限を分けて示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 二つの法律	普通選挙法は納税資格をなくし、男子の選挙権を広げた。一方、治安維持法は国体の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社などを禁じた。政治参加の拡大とともに、社会主義運動などへの取締りも進んだ。	選挙権の拡大と、特定の思想・社会運動への取締りという違いを示す。
問 9 労働者の団結	低い賃金や長い労働時間などの問題を改善するためである。個人では経営者に要求を伝えても受け入れられにくいため、組合をつくって交渉し、必要に応じて争議を行い、労働条件の改善を求めた。	労働条件の問題と、団結することで交渉する力を強める目的を示す。
問 10 小作争議	小作争議では、土地を借りて耕す小作人が地主に、小作料の引下げや耕作の権利の保障などを求めた。労働争議では、工場などの労働者が経営者に、賃金の引上げや労働時間の短縮などを求めた。	小作人と地主、労働者と経営者を対応させ、それぞれの要求を示す。
問 11 全国水平社	被差別部落の人々が中心となり、自ら団結して差別からの解放を求めた運動である。生まれや出身による差別に反対し、人間の尊厳や平等を認め合う社会を目指した。	当事者が主体となって団結したことと、差別の解消・人間の尊厳を示す。
問 12 女性の政治参加	女性の政談集会への参加を禁じる規定がなくなり、政治についての集会に参加する道が開かれた。ただし、これは選挙で投票する権利の獲得ではない。女性はその後も婦人参政権を求める運動を続けた。	政談集会への参加が認められたことと、選挙権は認められなかったことを区別する。
問 13 職業婦人と社会	女性が収入を得て社会で活動する機会が増え、自立や新しい生活の可能性が広がった。しかし、就ける仕事や待遇の男女差、政治参加の制限などは残り、働く女性の増加が直ちに男女平等の実現を意味したわけではない。	社会で働く機会の拡大と、待遇や権利に残った不平等の両方を示す。
問 14 大衆文化の条件	都市に人口が集まり、学校教育の普及で文字を読む人々が増えた。大量に印刷する技術や映画・ラジオが発達し、ニュースや娯楽を多くの人々に届けられるようになったため、共通の文化が広がった。	都市の成長・教育の普及と、大量の人々へ情報や娯楽を届ける方法を結び付ける。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 教育の広がり	大学令によって公立・私立大学も認められ、高等教育を受ける機会が広がる基盤ができた。一方、大正自由教育では、知識を一方的に教え込むだけでなく、子どもの個性や自ら学ぶ活動を大切にする方法が試みられた。	高等教育の制度・機会の拡大と、子どもを尊重する教育方法の変化を区別する。
問 16 文学と社会	白樺派は一人ひとりの個性や人間としての価値を重視した。プロレタリア文学は、働く人々の厳しい生活や不平等、団結して抵抗する姿などを描いた。それぞれ、人間や社会をとらえる異なる視点を示した。	個人の価値の重視と、労働・生活や社会の矛盾への注目の違いを示す。
問 17 二つの護憲運動	どちらも藩閥などに偏った政治を批判し、議会や政党を重視する政治を求めた。第一次は桂内閣に反対し、1913 年の退陣につながった。第二次は清浦内閣に反対し、1924 年に護憲三派の加藤高明内閣が成立した。	議会・政党を重視する共通点と、桂・清浦の違い、1913 年・1924 年の結果を示す。
問 18 成立と実施の年	いえない。1925 年は普通選挙法が成立した年であり、その制度による最初の衆議院議員総選挙は 1928 年に行われた。選挙制度を定める法律の成立と、制度を使って実際に投票する選挙の実施は区別する必要がある。	1925 年の法成立と、1928 年の国政選挙の実施を正しく対応させる。
問 19 震災と流言	不安や差別を背景に根拠のないうわさが広がり、朝鮮人などの命が奪われた。災害時には情報の根拠を確かめ、うわさを広めず、出身などで人を決め付けないことが必要である。人命と人権を守る対応が求められる。	流言と差別が人命被害につながった事実を示し、情報確認と人権尊重を結び付ける。
問 20 変化を担う人々	政治家だけの変化とはいえない。護憲運動や普通選挙運動には多くの民衆が参加し、労働者・農民・女性なども権利を求めた。新聞や雑誌は意見を広めた。こうした人々の行動や文化の変化が、政治や社会の民主化を支えた。	立場を示し、民衆の政治参加・社会運動・メディアなどから二つ以上の具体例を挙げる。